



大村市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象の影響により、世界各地で、豪雨・台風・猛暑などによる甚大な災害が発生しています。本市においても、記録的な大雨により多大な被害が発生するなど、市民生活に大きな影響をもたらしています。

こうした気候変動問題に国際的に対応するため、2015年パリ協定において、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°Cより十分に低く保つこと及び1.5°Cに抑える努力を追求することが世界共通の長期目標として掲げられ、この目標達成に向け、2020年10月、国は「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と宣言しました。

本市では、これまで「CO₂削減推進のまち」として、地球温暖化防止に取り組んできましたが、先人より受け継がれてきた豊かな自然環境を、未来を担う次世代へ引き継ぐためには、脱炭素社会の実現に向けた更なる取組が不可欠です。

このような状況を踏まえ、本市は、SDGs(持続可能な開発目標)の理念のもと、市民・事業者・行政が一体となった「オール大村」で、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組を進めていくことをここに宣言いたします。

令和5年2月24日

大村市長

園田裕史

